



総合評価支援ツール

CO2排出管理システム

CO2排出量を簡単にシミュレーション

積算データ取込
台帳管理からの一括管理に対応

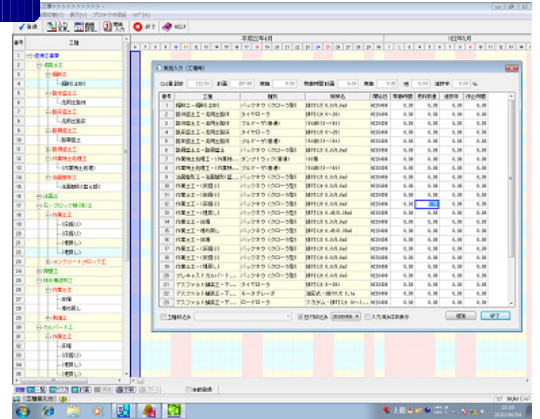
自社の環境対策への取り組みを強力にアピールし、評価点UP！

「CO2排出管理システム」は、積算データを読み込むことにより、機械毎の燃料消費量や施工時間を元にCO2排出量を自動的に算出します。

機械変更によるシミュレーションや、機械毎の目標削除率の設定により、計画段階ではCO2排出削減の提案資料作成に貢献します。

実施進捗管理では、工種または機械の優先入力条件の切り替えや絞り込み機能、さらに稼働時間または燃料数量の何れかによる入力等、柔軟な入力方法を用意しています。

シリーズ共通オプションの「エクセル出力オプション」を使用することにより、エクセル形式の総合評価技術提案書として利用することが可能となります。自社の環境対策への取り組みを強力にアピールし、総合評価対策への準備も万全です。



各社積算データの取り込みに対応

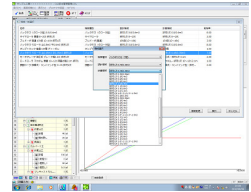
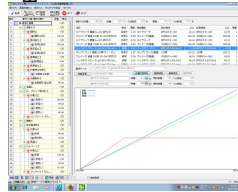
積算データ

施工規模+機械の性能（日標準量）= 燃料消費量

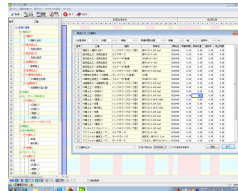


Co2排出管理

積算データを取り込み、そのデータに×排出量係数 = Co2排出量



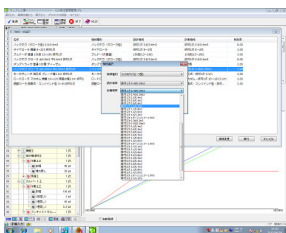
機械の規格（排気量やバケットのサイズ・エコモード搭載機種など）を変更する事により、積算上の「施工規模」を消化する日標準量（一日でどの位施工できるか、又は燃料消費量）が変更されるので、それによりCo2排出量が増減する事になります。これが、設計（積算）に対する、シミュレーション（計画）です。



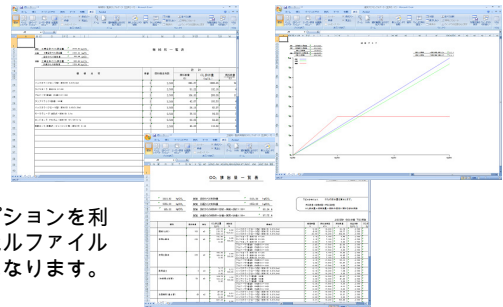
積算データ（設計）を取り込む事で、積算データ内にある「施工規模+機械の性能（日標準量）= 燃料消費量」×排出量係数を元に設計上のCo2排出量を算出します。これに対して、機械の規格を変更する事により、Co2の排出量削減の計画を行います。

積算データとのマッチング

積算データを繰り返し読み込む事により、積算データ上その名称を、どのマスに当てはめるか学習していきます。



PDF出力



エクセル出力オプションを利用すれば、エクセルファイルでの出力が可能になります。

JOHDEKI SERIES FOR WINDOWS

上出来BEST